

1 事業概要

		課名	危機管理室	事業No.	263
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			第11次消防力（消防団）整備計画	
	法令・例規等			消防法	
				動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令	
事業目的		対象	市民の生命と財産及び消防団員		
		意図	地域防災力向上につなげるため、よりよい機関機材の更新整備及び耐震貯水槽の適正配置		

2 事業内容

30年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11次消防力（消防団）整備計画に基づき、車両更新（消防自動車：橋北）（小型動力ポンプ付積載車：中西・舟渡・毛呂窪）（小型動力ポンプ付搬送車：上虎岩）整備を行いました。</li> <li>・消防団における人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図りました。</li> <li>・水災害等による現場対応として、救命胴衣の配備を行いました。</li> <li>・第16分団本部詰所の新築及び耐震性防火水槽を新設しました。</li> </ul>	消防自動車更新（1台）	16,633	小型動力ポンプ付積載車（3台）	26,940	小型動力ポンプ付搬送車（2台）	5,680	救急訓練用ダミー（1体）	464	救命胴衣（80着）	588	詰所修繕料	440	消火栓表示業務委託料	216	防火水槽新設工事費（単独）	4,860	詰所改築工事費（第16分団本部詰所）	27,260	その他の経費

活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	実績	実績		
	車両更新	台	0	6	5		
	救急訓練用ダミー	体	1	1	1		
	消防詰所建替	棟			1		
	救命胴衣	着			80		
	防火水槽	槽			1		

30年度決算(千円)	予算額	89,617	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	84,151	(地) 緊急防災・減災事業債（充当率100%）					
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) コミュニティ助成事業補助金 1,000千円				
		県支出金	0	(そ) 繰越金 60千円				
		地方債	79,100	29→30 繰越明許費 4,860千円				
		その他	1,060					
一般財源	3,991							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大	中	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
					業	業			
1	1	9	1	3	11	2	57,712	55,175	消防体制強化整備事業費（単独）
2	1	9	1	3	11	3	30,600	28,034	消防団詰所整備事業費
3	1	9	1	3	11	5	1,305	942	消防用施設整備事業費
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11次消防力（消防団）整備計画に基づき消防車両等の更新を進めていますが、道路交通法等の改正により普通免許で運転できる範囲が限定されたため、近い将来準中型免許の取得が必要となる事態が想定されます。</li> <li>・消火栓表示作業は作業単価が高騰したことにより実施箇所数が減少しています。</li> </ul>
上記の課題解決のための有効策	普通免許で運転可能な車両の研究（車両の軽量化）や準中型免許取得に係る費用負担について検討します。
次年度に向けての取り組み	車両更新における積載品については、消防団員が扱いやすい消防資機材などを研究しながら配備を進めます。また、人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図ります。